

## 5. 作動油の点検と補給

### 警告

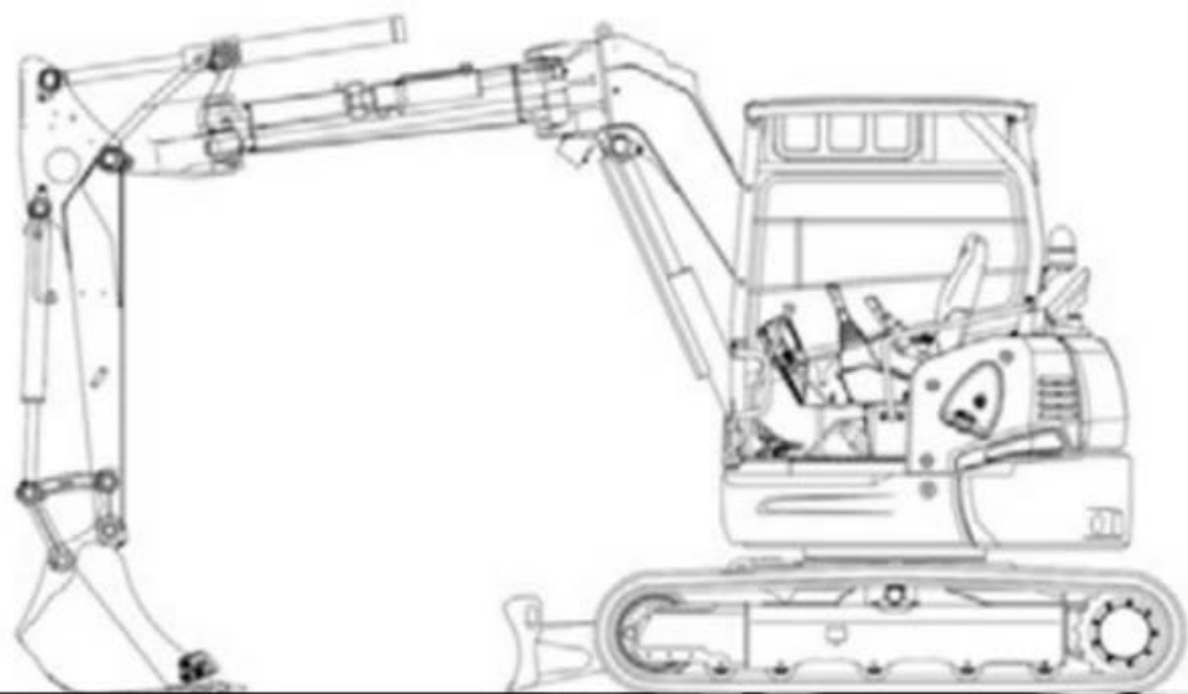
- 作動油タンクの給油口を外すときは、油温が完全に下がってから外してください。油が噴出し、ヤケドをする可能性があります。

- エンジンを停止して、給油キャップ<sup>o</sup>をゆっくり開けてタンクの内圧を抜いてください。

## 重要：

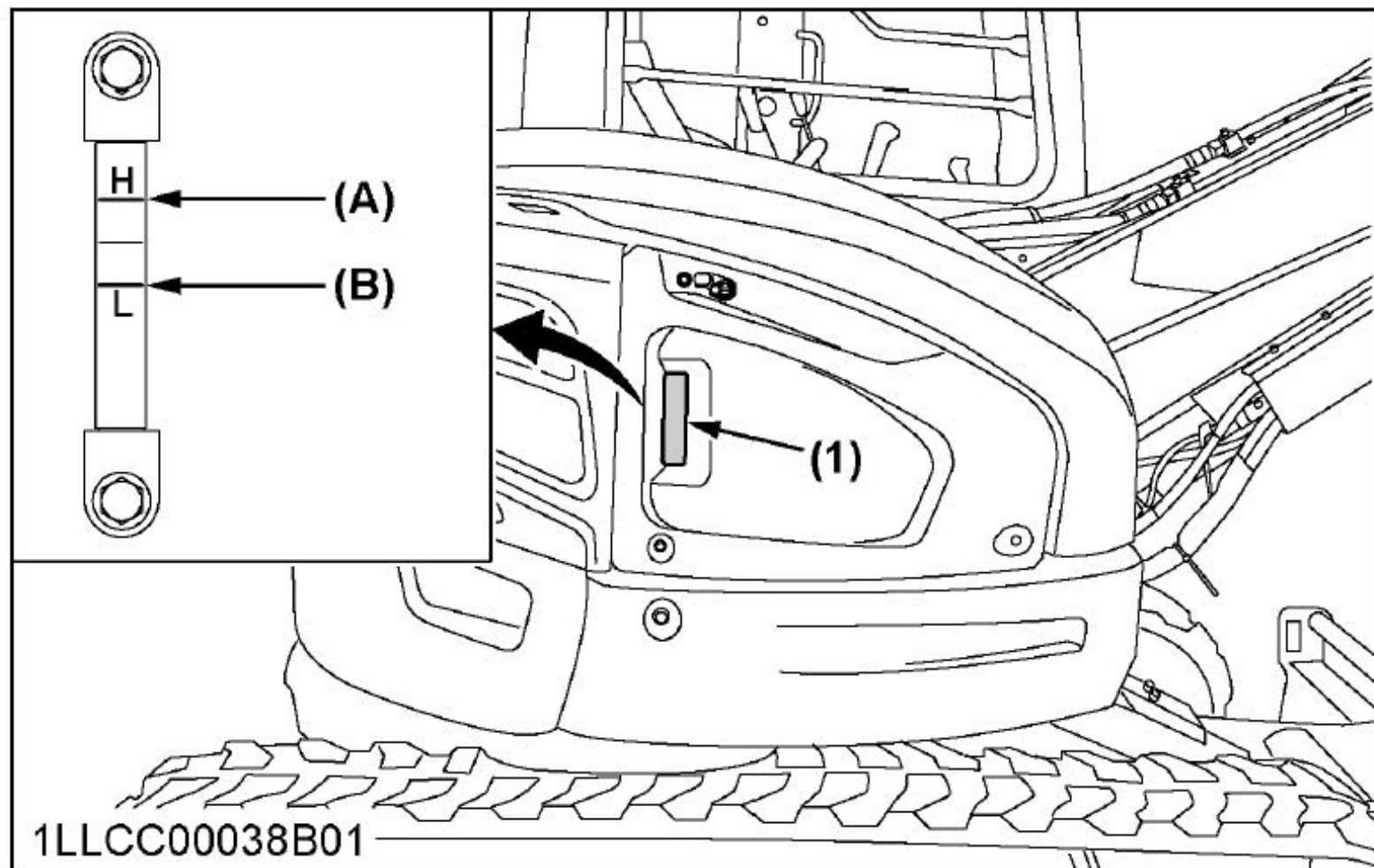
- 次の図と異なる作業姿勢や傾斜地で補給すると、作動油の過不足が生じます。必ず、水平な場所で指定の作業機姿勢にして補給してください。
- 補給する場合は、付近の砂やゴミをよくふき取り、必ず同一銘柄の作動油を使用してください。  
工場出荷時の作動油銘柄は、推奨オイルとグリース一覧表（143 ページ）を参照してください。  
絶対に他銘柄と混合しないでください。
- 油面計の上限を超えて給油すると、キャップ<sup>o</sup>より油が噴出する場合があります。

1. 機体を水平な所に止め、オフセット中央、アーム垂直、バケット底水平で、バケット及びブレードを地面に接地させます。



1BAACBCAP075A

2. 作動油が、常温（10℃～30℃）において油面計の中央になっているか点検します。  
油面計の中央にあれば正常です。

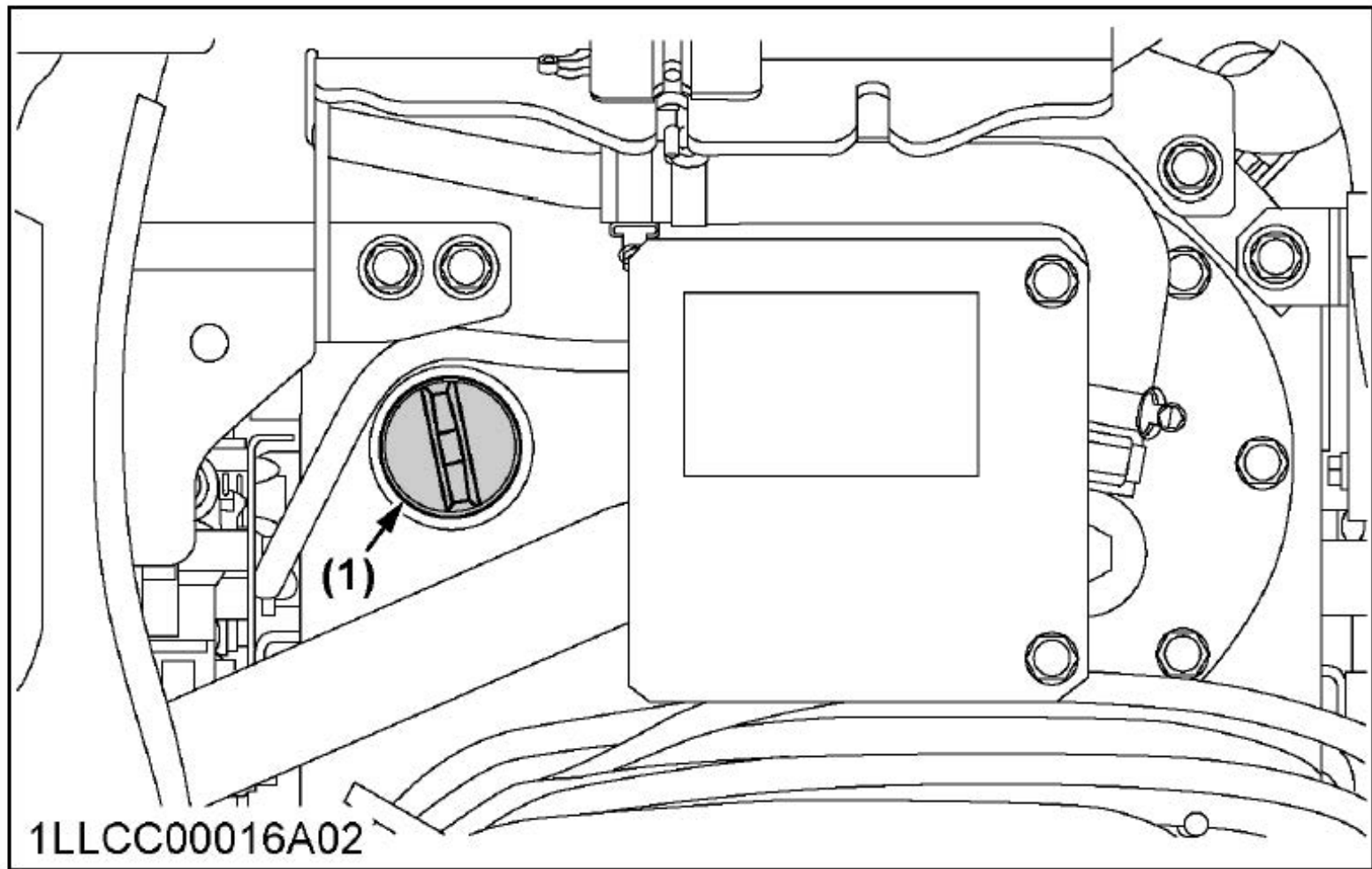


(1) 油面計

(A) **[H]** (上限)

(B) **[L]** (下限)

3. 不足しているときは、給油口より補給します。



(1) 給油口

4. 作動油に水などが混入したときは、全量交換をします。

(全量交換の詳細は作動油、および作動油サクションフィルタの交換 (119 ページ) を参照)

作動油オイル交換容量	全油量 71.5 L (オイルゲージ中央 : 32.2 L)
------------	-----------------------------------